

スリーアール 10月は3R推進月間です

3R（スリーアール）ってなあに？

3R（スリーアール）は、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取組の頭文字をとったものです。3Rは、リデュース、リユース、リサイクルの順番で取り組むことが求められています。

Reduce(リデュース)

ごみも資源ももともと減らす

もったいない



Reuse(リユース)

くりかえし使う



Recycle(リサイクル)

資源として再び利用する



ごみを減らす「3R作戦」

リデュース Reduce

【消費する資源を減らす】

- ・買い物にはマイバッグや買い物かごを持参する
- ・過剰な包装は断って簡易な包装にする
- ・衣料品は手直しして長く使う
- ・使い捨て商品よりもリサイクル製品を選ぶ
- ・詰め替え製品などを積極的に選ぶ

- ・いらなくなった紙はメモ用紙として使う
- ・繰り返し利用できるビンを使用した製品を選ぶ
- ・いらなくなったものは知人に譲る、バザーやリサイクルマーケットに提供する

リユース Reuse

【再生利用する】

- ・市町村のごみ分別収集のルールを守る
- ・空き缶、空きビン、牛乳パック、古新聞、古雑誌、段ボール、古布などは資源回収に出す
- ・生ごみは生ごみ処理機などを利用して堆肥にする
- ・集団回収に積極的に参加する

え
こ
ら
い
ふ
協
力
町
事
業
所
内
会
社
通
信

ご協力に感謝!

【発行元・問合せ先】

横手市市民福祉部
生活環境課
〒013-8601
横手市中央町 8-2
[TEL] 35-2184
[FAX] 33-7838
[E-mail] kankyo
@city.yokote.lg.jp



検 定

エコライフ検定にチャレンジ！ 学ば-111-

Q1：地球温暖化の原因物質の一つである大気中の二酸化炭素の濃度が上昇し始めたのは、いつ頃から？

- ① 約 50 年前
- ② 約 250 年前
- ③ 約 500 年前
- ④ 約 750 年前

＜解説＞大気中二酸化炭素の濃度が上昇し始めたのは、人類が化石燃料を使って本格的に工業生産を開始した産業革命以降のことです。産業革命以前の 1750 年には約 280ppm だった大気中の二酸化炭素濃度は、2015 年に 400ppm となり、約 1.4 倍に増えています。

（解答：②約 250 年前）

Q2：日本の国土面積に占める森林の面積の割合は、およそどのくらい？

- ① およそ 10%
- ② およそ 30%
- ③ およそ 50%
- ④ およそ 70%

＜解説＞日本では、森林が国土に占める割合は 67% であり、森林資源に恵まれた国といえます。この豊かな森林の存在と水の供給が日本における多くの人口の生存を可能にしています。また急傾斜地が多い国ですが森林が山崩れなどの災害の防止に大きな役割を果たしています。ただし、人口の多い日本では、国民 1 人当たりの森林面積は 0.02ha で、世界の平均 0.77ha よりは低くなっています。日本の森林のうち人工林が 41% で 1000 万 ha、天然林が 54% で 1350 万 ha となっています。天然林は樹木の種類が多く動物の生活しやすい環境で、生息する動物の種類も多様です。

（解答：④およそ 70%）

Q3：強風のために砂丘が移動するのを防ぐために有効なのはどれ？

- ① 草方格
- ② 草団子
- ③ 藁草履
- ④ 泥団子

＜解説＞砂漠は、一般的に言えば、風が強く太陽光が強すぎる場所が多いのです。乾燥に強い植物により、防風林や防風垣を設けることによって、風を遮り、気温を低下させ、湿度を上げて植生（特に農作物）の復活をより容易に図ることができます。また、強風のために砂丘が移動するのを防ぐためには、こうした垣根を格子状に設置した草方格が有効な事が知られています。

（解答：①草方格）